

あすも、みらいも、すこやかに

先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の社会に貢献する

第1期



あすか製薬ホールディングス株式会社

株主の皆さまへ

あすか製薬ホールディングスはおかげさまで順調にスタートしました

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第1期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業概況につきましてご報告申し上げます。

2021年4月1日に新たな一歩を踏み出した私たち「あすか製薬ホールディングス」は、初年度である第1期において、当社グループの売上高566億7百万円と、あすか製薬時代から通じて過去最高の売上高を記録し、営業利益47億9千5百万円、経常利益48億8千万円と、おかげさまで順調なスタートを切ることが出来ました。これも株主の皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

グループの中核をなす「あすか製薬」の医療用医薬品事業においては、2021年4月に初めて実施された薬価の中間年改定や医療費抑制策の推進による影響を受けつつも、主力である産婦人科製品の「レルミナ」や「フリウェル」の伸長をはじめ、内科領域の主力品である「チラーゼン」や「リフキシマ」の増加等により堅調に推移しました。

「あすかアニマルヘルス」や「あすか製薬メディカル」が展開する動物用医薬品、検査、医療機器等のその他事業につきましても、動物用医薬品事業における畜産・コンパニオンアニマル用薬品、飼料添加物を中心に売上が好調に推移しました。

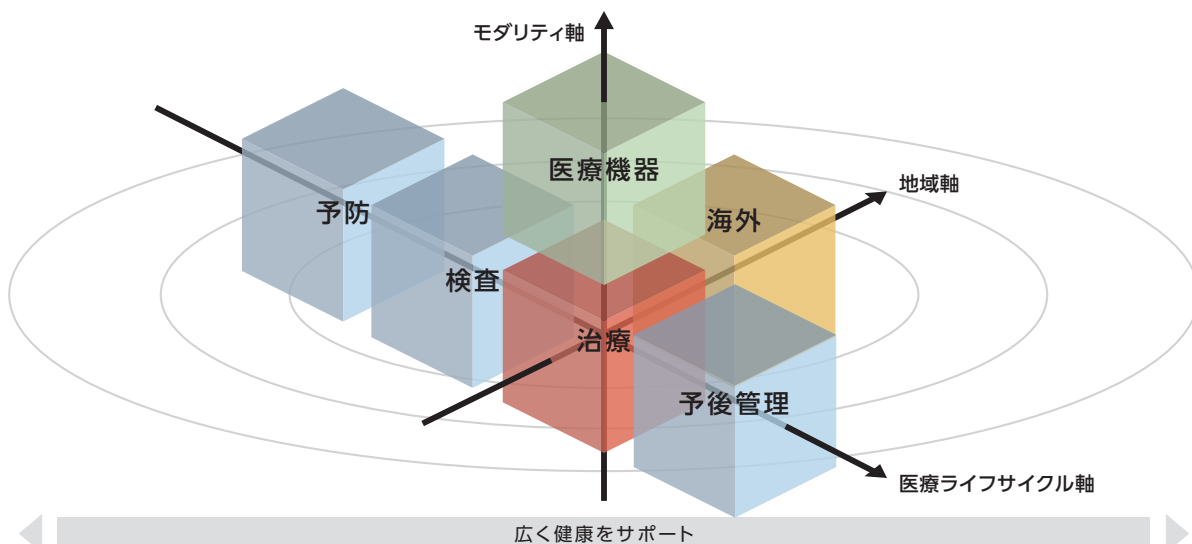
そして、2022年4月4日に東京証券取引所プライム市場に移行した当社は、「スペシャリティファーマを基盤としたトータルヘルスケアカンパニー」の実現に向けて、5カ年の中期経営計画に基づき、「あすか製薬」では産婦人科領域や甲状腺領域を中心にスペシャリティ領域の強化と継続的な新薬創出のためのオープンイノベーション活用やグローバルベースなアライアンス活動を、「あすかアニマルヘルス」においては畜水産領域における繁殖・免疫・栄養といった強みの伸長とコンパニオンアニマルの健康を支える製品の開発・販売への取り組みを、「あすか製薬メディカル」ではからだを傷つけない負担の少ない検査法のビジネス確立を、それぞれ進めてまいります。



代表取締役社長 山口 隆

今後も社会からの期待に応えるとともに継続的な企業グループの価値向上を追求するため、グループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

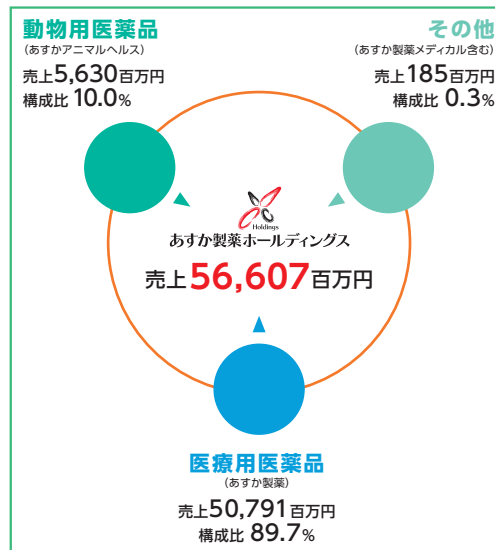
スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指す



事業の概況

当連結会計年度の当社グループの売上高は566億7百万円となりました。費用面については売上原価が302億5千5百万円、販売費及び一般管理費は215億5千6百万円となり、その結果、営業利益は47億9千5百万円となりました。経常利益につきましては、営業外収益を3億7千9百万円、営業外費用を2億9千4百万円計上したこと等により、48億8千7百万円となりました。また当社連結子会社であるあすか製薬株式会社が保有する土地および建物を譲渡したことによる固定資産売却益94億2千5百万円を計上したこと等により、特別利益として96億8千3百万円を計上いたしました。一方で、あすか製薬株式会社が申請したCDB-2914(ウリプリスタル)の開発中止により、無形固定資産の減損処理等による特別損失68億9千1百万円を計上したことに加え、投資有価証券評価損11億5千1百万円を計上したこと等により特別損失が84億円となりました。以上により、親会社株主に帰属する当期純利益は42億9千7百万円となりました。

【各事業の概況(売上構成比)】



【セグメント別の業績】

医薬品事業

医療用医薬品事業につきましては、2021年4月に初めて実施された薬価の中間年改定や医療費抑制策の推進による影響を受けつつも、主力である産婦人科製品の伸長等により総じて堅調に推移しました。製品別にみると、産婦人科領域においてはGnRHアンタゴニスト「レルミナ」が73億3千4百万円、月経困難症治療剤「フリウェル」は34億6千3百万円と大幅な伸長となりました。また内科領域の主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーゼン」が74億9千9百万円、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」が48億5千4百万円と増加したほか、他社製品供給問題に端を発する代替需要の高まりにより、オーソライズド・ジェネリック「カンデサルタン類」が123億9千4百万円、泌尿器科領域のLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リユプロレリン」が51億8千3百万円となりました。

以上の結果、売上高は507億9千1百万円、セグメント利益は50億8千8百万円となりました。

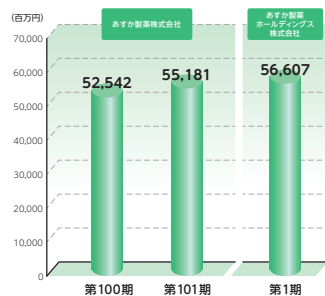
その他

動物用医薬品、検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業につきましては、動物用医薬品事業における畜産・コンパニオンアニマル用薬品、飼料添加物を中心に売上が好調に推移しました。

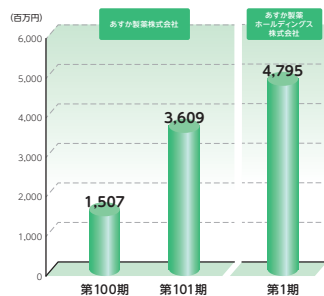
以上の結果、売上高は58億1千6百万円、セグメント利益は3億6千万円となりました。

財務ハイライト(連結)

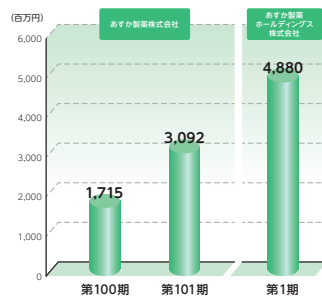
売上高



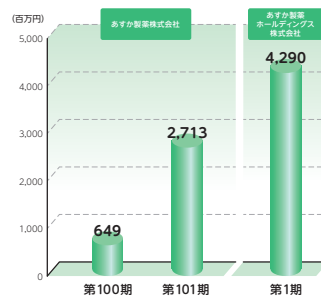
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



(注1) 第101期以前の値はあすか製薬株式会社として公表した値を参考として記載しております。(注2) 当期末の自己資本比率は58.7%です。

トピックス

◆ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄選定

あすか製薬ホールディングス株式会社は、この度FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に選定されました。グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

当社は2021年4月、ホールディング体制への移行にあわせて「ESG委員会」を設立し、「女性の健康への貢献」と「アニマルヘルスへの貢献」をはじめとした全17項目のマテリアリティ(最重要課題)を特定しました。今後も継続して課題解決に積極的に取り組んでいくことで、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

◆ 当社ホームページが表彰されました

日興アイ・アール

「2021年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」
優秀サイト 受賞

調査対象: 全上場企業3,888社
受賞企業: 476社(最優秀191社、優秀122社、優良163社)



Gomez

「IRサイト総合ランキング2021」
銅賞 受賞

調査対象: 上場企業3,745社
受賞企業: 305社(金賞24社、銀賞126社、銅賞155社)



当社では、ステークホルダーの皆さまに対して、積極的に情報の発信を行うとともに、分かりやすく使いやすいサイトを目指して取り組んでまいりました。今後もより良いサイトづくりに尽力してまいります。

■あすか製薬ホールディングス
<https://www.asaka-pharma-hd.co.jp/>

■日興アイ・アール
「2021年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」
<https://www.nikkoir.co.jp/rank/rank.html>

■Gomez Gomez
「IRサイト総合ランキング2021」
<https://www.gomez.co.jp/ranking/ir/index.html>

※東証プライム市場に上場している製薬企業のうち、両方を受賞しているのは37社中14社のみです。それぞれ受賞内容等については、右記URLよりご確認ください。

◆ 不妊治療に関する効能・効果の保険適用

あすか製薬株式会社は、以下に示す医薬品において、不妊治療に関する効能・効果に対して、2022年4月1日より保険適用されました。

新たに保険適用された効能・効果に関する有効性と安全性は、医学薬学上公知なものととして、国内使用実態調査結果及び国内外の診療ガイドライン等に基づき評価されました。

あすか製薬株式会社は1920年の創立以来、ホルモン製剤のパイオニアとして医薬品の創製・提供を続け、なかでも「女性の健康をサポートする会社」として、産婦人科領域に注力してまいりました。

今後も産婦人科領域のスペシャリティファーマとして、女性の健やかな明日のために、より一層の貢献をしていきます。

【不妊治療に関する効能・効果が保険適用された医薬品一覧】

新たに保険適用された品目



フロリバル 配合錠

uFSH注用75単位「あすか」
uFSH注用150単位「あすか」ゴナトロピン 筋注用1000単位
ゴナトロピン 筋注用3000単位
ゴナトロピン 注用5000単位HMG注用75単位「あすか」
HMG注用150単位「あすか」

新たに薬価収載された品目

ルテウム 経用坐剤400mg[※]

※2022年4月1日付けで薬価収載されました。
「効能・効果」に変更はございません。

◆ 研究開発の状況

避妊を効能・効果として開発中のLF111 (ドロスピレノン) は、Phase I/II 試験を終了し、Phase III 試験を開始しました。2021年9月に東レ株式会社との間で、東レとナノシート株式会社が共同で開発中のTRM-270 (癒着防止材) について、日本をテリトリーとした共同事業化契約を締結しました。前立腺肥大症の適応症で杏林製薬株式会社と共同開発中のAKP-009 (ルダテロン酢酸エステル) について、Phase IIa 試験の結果を踏まえ、最大効果を確認するために実施していた追加のPhase I 試験は終了しました。2021年9月に武田薬品工業株式会社が保有するレルゴリクス配合剤に関し、日本における子宮筋腫の独占的開発権および独占的販売権を取得するライセンス契約を締結しました。

開発パイプライン (2022年5月時点)

開発番号 (一般名) / 領域・効能	PhI	PhII	PhIII	申請	承認
LF111 (ドロスピレノン) 避妊			PhIII 実施中		
(オプション契約) PMS/PMDD治療薬 レナサイエンスにて開発中		医師主導 PhII実施中			
(オプション契約) 子宮頸部異形成治療薬 キノファーマにて開発中		韓国にて PhI/II実施中			
TRM-270 (癒着防止材) (消化器領域・産婦人科領域)			治験準備中		
L-105 (リファキシミン) 肝性脳症 (小児)			PhII/III 実施中		
AKP-009 (ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症		PhIIa終了*			
レルゴリクス配合剤 子宮筋腫	開発準備中				

TAK-385 (レルゴリクス) は子宮内膜症に関する適応が承認されました。

※PhIIa試験の結果を踏まえ、最大効果を確認するために実施していた追加のPhI試験は終了しました。

あすかアニマルヘルス株式会社

◆ ワクモヘイトIPPS AWARD 2022養鶏部門受賞

2021年4月に発売したハーブ系混合飼料「ワクモヘイト」が、国際養鶏養豚総合展2022 (ポートメッセなごや4月27日～29日開催229社出展3日間来場者数22,664名) においてIPPS AWARD 2022養鶏部門を受賞しました。同賞は来場者がエントリーの製品・サービスから1番ベストと思った製品・サービスに投票し、養鶏 (エントリー18社)、養豚 (同23社)、食品 (同3社) の各部門で最多投票数を獲得した製品が受賞となります。受賞の背景に、養鶏業界の長年にわたるワクモ被害があります。ワクモヘイトにより鶏の吸血ストレスを減らすことでアニマルウェルフェアへの貢献と、養鶏業のワクモ被害が軽減できるように今後もワクモヘイトの普及に努めます。



株式会社あすか製薬メディカル

◆ 「毛髪ホルモン量測定キット」測定項目拡充の取り組み

毛髪測定事業の第1弾として、2021年7月に発売しました男性型脱毛症のリスク評価を目的とした「毛髪ホルモン量測定キット ジヒドロテストステロン」(あすか製薬株式会社と共同開発) に続き、第2弾として、テストステロン量測定キットの発売を2022年度に予定しています。この測定キットは、男性更年期障害の原因のひとつとされる男性ホルモン (テストステロン) の減少を、わずか1mg (5～10本) の毛髪でリスク評価することができます。

今後も、微量の毛髪ホルモン量を測定する独自技術を活用した検査キットの開発を継続していくことにより、毛髪測定事業をあすか製薬メディカルの中核事業に発展させていきたいと考えています。



会社の概要 (2022年6月28日現在)

社名	あすか製薬ホールディングス株式会社 ASKA Pharmaceutical Holdings Co., Ltd.
設立	2021年4月1日
資本金	11億9,790万円
従業員数	777名(連結) (3月31日現在)
事業内容	グループ会社の経営管理およびこれに附帯する業務
本社	〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
グループ会社	あすか製薬株式会社 あすかアニマルヘルス株式会社 株式会社あすか製薬メディカル
持分法適用関連会社	Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Company 日本硝子産業株式会社 他1社

大株主 (上位10位) (2022年3月31日現在)

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,240	11.47
2. 武田薬品工業株式会社	2,204	7.80
3. ゼリア新薬工業株式会社	1,798	6.36
4. 株式会社三菱UFJ銀行	1,100	3.89
5. 山口 隆	882	3.12
6. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	822	2.91
7. 株式会社ヤマグチ	579	2.05
8. あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.87
9. 日本生命保険相互会社	522	1.85
10. トーア再保険株式会社	500	1.77

(注) 1. 当社は自己株式を2,321,356株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・氏名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話(通話料無料) 0120-232-711 https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内:少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

役員 (2022年6月28日現在)

■取締役

代表取締役社長	山口 隆
代表取締役専務取締役	丸尾 篤嗣
代表取締役専務取締役	山口 惣大
取締役常務執行役員	森 麻衣子
取締役常務執行役員	山口 文豊
社外取締役	吉村 泰典
社外取締役	山中 通三
社外取締役	播野 勤

■監査役

常勤監査役	熊野 郁雄
常勤監査役	福井 雄一郎
社外監査役	木村 高男
社外監査役	福地 啓子

■執行役員

上席常務執行役員	加藤 和彦
常務執行役員	田村 聖彦
執行役員	軍司 国弘
執行役員	齋藤 淳一

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	30,563,199株
単元株式数	100株
株主数	8,679名

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4886

いいかば 検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入。)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンからもアクセスできます

カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズについての詳細 <https://www.link-cc.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL:info@e-kabunushi.com